



## 第4章 基本理念達成に向けた施策の方向

### 4 山村地域の振興 〈～ゆとりと潤いのある山村の創造～〉

林業に従事する人の多くが居住する山村地域は、安全で豊かな県土形成に重要な役割を果たしていることから、その活性化と持続的な発展を図ります。

また、森林に対する県民ニーズの多様化に対応して、教育・文化・保健など多面的な利用者を受け入れできるよう、子ども、高齢者、障害者等にも配慮した施設整備等を進めます。

#### あるべき姿

- 山村地域では、道路や下水道などの生活基盤が整備され、豊かな自然環境や固有の文化を生かした潤いある生活が営まれています。
- また、きのこ・山菜・木炭などの林産物資源と農産物を組み合わせた食品加工や産地直売施設など、地域特性を生かした活力ある地場産業が振興され、雇用の場が確保されることで若者も定着しています。
- 山村固有の風土や伝統文化が継承され、グリーン・ツーリズムや体験学習などの場として活用され都市住民との交流が盛んに行われています。

#### 【施策の内容】

##### (1) 生活基盤の整備

- 集落、各種林業用施設、公道間を有機的に結ぶ林道等の整備によって利便性を高めます。
- 用排水施設、広場、保健増進施設等により、定住条件の改善を推進します。
- 農林水産物の産地直売や加工品製造などの施設整備により、高齢者や女性の取組みを推進し、収入機会の増大や山村集落の活性化を促進します。

##### (2) 地域資源の活用による総合的な産業の振興

- 山村地域の特性を生かし、自然景観、文化・歴史的資源を活用した観光産業などの他産業との連携による総合的な産業の振興に努めます。
- 「初雪たけ」などのきのこや山菜、木炭などの生産を拡大し、高齢者や女性の経験や技術を発揮できるような地域特産品や加工品などの新商品開発を進めます。
- 木質バイオマス等の未利用資源を活用した産業育成などにより、多様な就業機会を創出・確保していきます。

### (3) 森林資源の多面的利用の推進

#### ①都市との交流促進

- 山村地域の豊かな自然や伝統文化等、都市にない魅力を活かしたグリーン・ツーリズムなどにより、県内外の都市住民との交流を促進します。
- 特色ある自然環境や地域独自の祭礼、習慣、民俗芸能などの森林文化を育む農山村地域間の交流を深め、伝統文化の保存と継承を支援します。
- 交流活動の企画立案や実務を行う人材の確保・養成を図るため、林業研究グループ、指導林家、青年林業士、森林インストラクター等への研修を行います。

#### ●炭焼きを体験する子どもたち●



#### ②森林・林業の大切さの普及啓発

- 各種イベントの開催などにより、県民に森林・林業・木材産業や森と川と海のつながりの大切さの理解を促していきます。
- 緑化推進組織の活動を強化するため、地域の独自性を盛り込んだ緑化推進プランの策定と森林ボランティアの組織化などを積極的に進めます。
- 緑の少年団など、子どもたちが実際に森林に接し、実体験を通じて森林への理解が深められるような活動を支援します。
- 森林環境教育の指導者養成とその組織化を進め、県民が森林・林業の大切さを学ぶ森林教室や林業体験などの活動の場を増やします。
- 森林環境教育活動の拠点として森林総合利用施設の整備を推進します。
- 学校教育との連携により、学校林等を活用した森林環境教育を推進します。

### (4) 森林文化の保存と継承

- 森の恵みを育みながら利用する知恵や技術などを、地域の高齢者やマタギなどから学ぶ機会を作っていきます。
- 地域のシンボリック巨樹・古木を守り、木や森林に関する地域文化を保存・継承していきます。
- 山村地域に受け継がれている伝統芸能の保存・育成と継承する人材の確保に努めます。